

様式第八（下水道法施行規則第十条関係）

特定施設の構造等変更届出書

年 月 日

公共下水道管理者（流域下水道管理者）

申請者

住 所 太田市浜町〇〇〇〇

電話番号〇〇-〇〇〇〇

氏名又は名称及び 〇〇〇〇〇株式会社

法人にあつては

その代表者の氏名 代表取締役 太田 太郎

下水道法第12条の4（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の4）の規定により、特定施設の構造等の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社□□店	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	太田市浜町〇〇〇〇	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	71 自動式車両洗淨施設	※施設番号	
△特定施設の構造（特定施設の使用 方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統 ）	別紙のとおり	※備考	

備考

△の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

※印の欄には、記載しないこと。

変更のある部分については、変更前及び変更後の内容を対象されるものとする。

届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

様式八 記入上の注意

- (1) 「年月日」
届出を行う年月日を記入して下さい。
- (2) 「申請者の住所，電話，氏名」
 - ① 法人の場合は本社等の所在地又は当該届出事業場の所在地を記入して下さい。
 - ② 申請者が個人にあつては，屋号を含めて記入して下さい。
 - ③ 申請者が法人にあつては，名称及び代表者の肩書き及び氏名を記入して下さい。
 - ④ 法人の工場等が申請者となる場合，名称は工場名迄記入し，代表者は工場長とし，法人の代表者から工場長あての委任状を添付して下さい。
- (3) 「工場又は事業場の名称」及び「工場又は事業場の所在地」
当該特定施設を変更しようとする事業場の名称及び所在地を記入して下さい。
- (4) 「特定施設の種類」
水質汚濁防止法施行令別表第1及びダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2に掲げる特定施設番号及び施設名（特定施設の種類の種類が複数ある場合は，全ての特定施設）を記入して下さい。
- (5) 「△特定施設の構造（特定施設の使用の方法，汚水の処理の方法，下水の量及び水質，用水及び排水の系統）」
変更する事項以外は抹消して，別紙（1）～（5）のうち適当なものを参照し，変更理由及び変更前後の内容を記載し添付して下さい。

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場における施設番号		自動洗車機①	(変更なし)
特定施設番号及び名称		7 1 自動式車両洗淨施設	
型 式		メーカー : □□□ 型式 : ○○ー○○○ 製造番号 : △△△△	
構 造	材 質	鉄及びアルミ鋼板	
	形 状	門型	
	主要寸法	W3,600×H2,915×D2,655 (mm)	
能 力		時間当たり平均 6 台 (時間最大 10 台:最短コース)	
主要機械又は主要装置の配置		別図 1 のとおり	
着 手 予 定		年 月 日	
完 成 予 定		年 月 日	
使用開始予定		年 月 日	
その他参考事項		雨水が混入しない構造とする	

備考 構造、主要寸法及び主要機械又は主要装置の配置の欄の記載については、詳細な図面を利用して、その概要を明記すること。

特 定 施 設 の 使 用 の 方 法

工場又は事業場における施設番号		自動洗車機①（変更前）	自動洗車機①（変更後）
特定施設番号及び名称		7 1 自動式車両洗浄施設	左に同じ
設置場所		別図 2 のとおり	左に同じ
操業系統		別図 3 のとおり	左に同じ
1日の使用時間		8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0	左に同じ
使用の季節的変動の概要		なし	左に同じ
原材料	種類	洗剤、ワックス	洗剤
	使用方法	希釈して車両に噴射	左に同じ
	1日当たりの使用量	洗剤： ○○cc/台 ワックス： ○○cc/台 水道水： ○○ℓ /台	洗剤： △△cc/台 水道水： □□ℓ /台
廃液の分離方法		4槽式油水分離槽	左に同じ
使用時の汚水量及び水質		別紙 4 のとおり	左に同じ
参考事項		<p>○洗剤の MSDS シートは別紙 6 のとおり。</p> <p>○油水分離槽の管理について、1日1回以上槽内点検を実施し、油が浮いていればその都度回収します。また、月に1度槽内の堆積物除去及び清掃を産廃業者に委託しています。</p>	

備考 使用時の汚水量及び水質の欄の記載については、別図によることとし、操業系統の図面と兼ねて記入してもよい。

汚 水 等 の 処 理 の 方 法

処 理 施 設 名	4 槽式油水分離槽	(変更なし)
汚水の処理施設の設置場所	別図 4 のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
着 工 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
汚水の処理施設の種類、型式	4 槽式油水分離槽	
汚水処理施設 の構造等	主 要 寸 法	別図 5 のとおり
	能 力	別図 6 のとおり
	処 理 方 式	別図 7 のとおり
汚 水 等 の 処 理 系 統	別紙 5 のとおり	
汚水等の集水及び導水方法	別図 8 のとおり	
汚水処理施設の使用時間及びその季節的変動の概要	8 : 0 0 ~ 2 0 : 0 0 季節的変動なし	
汚水等の処理に要する消耗資材の 1 日当たりの用途別使用量	なし	
処理前後の水量及び水質	別紙 4 のとおり	
残渣の量及びその処理方法	○ kg/月、産廃業者にて委託処理	
排除場所	公共下水道	
その他の記載事項	産廃業者(株)○○ Ⅲ ** - ***	

- 備考 1 汚水等の集水及び導入方法の欄の記載については、別図によることとし、特定施設から汚水処理施設に至る導水路ならびに工場内の排水経路を明らかにすること。
- 2 処理前後の水量及び水質の欄の記載については、別図によることとし、汚水等の集水及び導水方法の欄の図面に記入してもよい。
- 3 汚水処理施設の設置場所及び処理水の排除場所については、別図上でもその位置を示すこと。

別紙 4

下水の量及び水質

排水口		1		(変更なし)				備考
排水量 (m ³ /日)	項目	平均	最大	平均	最大	平均	最大	
				7	10			
		平均	最大	平均	最大	平均	最大	
温度	°C	14.5	16.5					
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	mg/L	15	20					
水素イオン濃度		7.2	7.5					
生物化学的酸素要求量	mg/L	2	3					
浮遊物質量	mg/L	2	5					
ノルマルヘキサン抽出物含有量	鉱油類	mg/L	1 >	1				
	動植物油脂類	mg/L	2	3				
窒素含有量	mg/L	15	25					
りん含有量	mg/L	2	3					
よう素消費量	mg/L	5	10					
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
シアン化合物	mg/L	1 >	1 >					
有機りん化合物	mg/L	1 >	1 >					
鉛及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
六価クロム化合物	mg/L	0.5 >	0.5 >					
ひ素及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.005 >	0.005 >					
アルキル水銀化合物	mg/L	0.005 >	0.005 >					
ホリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003 >	0.003 >					
トリクロロエチレン	mg/L	0.3 >	0.3 >					
テトラクロロエチレン	mg/L	0.1 >	0.1 >					
ジクロロメタン	mg/L	0.2 >	0.2 >					
四塩化炭素	mg/L	0.02 >	0.02 >					
1,2-ジクロロメタン	mg/L	0.04 >	0.04 >					
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.2 >	0.2 >					
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.4 >	0.4 >					
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	3 >	3 >					
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.06 >	0.06 >					
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.02 >	0.02 >					
チウラム	mg/L	0.06 >	0.06 >					
シマジン	mg/L	0.03 >	0.03 >					
チオベンカルブ	mg/L	0.2 >	0.2 >					
ベンゼン	mg/L	0.1 >	0.1 >					
セレン及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
ホリ素及びその化合物	mg/L	1 >	1 >					
ふっ素及びその化合物	mg/L	1 >	1 >					
フェノール類	mg/L	1 >	1 >					
銅及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
鉄及びその化合物 (溶解性)	mg/L	0.1 >	0.1 >					
マンガン及びその化合物 (溶解性)	mg/L	0.1 >	0.1 >					
クロム及びその化合物	mg/L	0.1 >	0.1 >					
ダイオキシン類	mg/L							
摘要								

備考 水質は、使用材料、使用量、設備工程等から判断し、排出する可能性のある物質について記入すること。

用 水 及 び 排 水 の 系 統

